

**カンボジア有望産品調査
伝統医療や伝統料理に用いられるハーブ等素材**

2012年3月

**日本貿易振興機構(ジェトロ)
プノンペン事務所
途上国貿易開発部**

目 次



1. カンボジアのハーブ等素材図鑑

P.2



2. クメール伝統医療について

P.19



3. ハーブを使用したカンボジアの食生活

P.25



4. カンボジア製品の市場性

P.30

調査委託先： クルクメール・ボタニカル社

参考資料：

カンボジア伝統医療師協会キーブーハン会長「クメール伝統医療の歴史」

An overview of the use and trade of plants and animals in traditional medicine system


In Cambodia TRAFFIC


東南アジアの鍼治療 – 高田忠典著


CaTMO情報2012


カンボジア伝統医療師専門学校2011年度教科書


【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。


クメール名: KanTuet	英語名: Star gooseberry
学名: Phyllanthus acidus (Linn.) Skeels	日本語名: アメダマノキ
	<p>【種目(科目)】 トウダイグサ科</p> <p>【原産国】 アジア, カリブ地域, 中南米</p> <p>【使用部位】 根, 樹皮, 葉, 果実</p> <p>【特徴】 薬用および食用植物。若葉は調味料, 果実はデザートとなります。果実はビタミンCを豊富に含んでいます。</p> <p>【使用方法】 果実を塩・砂糖・唐辛子にディップした料理は, 妊娠中の女性に最適とされています。また砂糖漬けにしたものはデザートとして, 若葉はサラダとして食べます。樹皮・根は煎じて消毒液として使用します。蜂蜜でチンキされた(浸された)新鮮な果実は, 強壯剤や薬として用います。</p> <p>【効能】 慢性的な喉の渇き, 発熱, 発疹, はしか, 歯痛, 歯茎などの出血, 目の病気</p> <p>【使用用途】 解熱作用があります。また下剤として用いられます。</p> <p>【注意事項】 根および根皮には毒性があります。これらは, 煮沸されてかゆみなどに効く, 皮膚の消毒剤として用いられます。</p>

クメール名: Pka-KompingPouy	英語名: Rose periwinkle
学名: Catharanthus roseus (L.) G. Don.; Syn: Vinca rosa L.	日本語名: ニチニチソウ(日々草)
	<p>【種目(科目)】 キョウチクトウ科</p> <p>【原産国】 マダガスカルなどの熱帯・亜熱帯地域</p> <p>【使用部位】 根, 葉</p> <p>【特徴】 薬用および観賞用植物</p> <p>【使用方法】 煎じたり, その他のハーブを混ぜて飲みます。または, 地元の白ワインでチンキしたり, 抽出したりします。</p> <p>【効能】 無尿症, 血尿, 生理不順, 糖尿病, 高血圧, 白血病</p>


クメール名: Chee-AngKaam	英語名: Peppermint
学名: Mentha cordifolia Opiz.	日本語名: ペパーミント(コショウハッカ, セイヨウハッカ)
	<p>【種目(科目)】 シソ科</p> <p>【原産国】 欧州, アジア, オーストラリア, 北米</p> <p>【使用部位】 全体(日陰で乾燥後)</p> <p>【特徴】 薬用および食用植物。エッセンシャルオイルを含みます。</p> <p>【使用方法】 煎じたりお茶として飲みます。また, 湿布や外用の吸引財として用います。</p> <p>【効能】 発熱, 風邪やインフルエンザ, 胃痙攣や痛み, 鼓腸(腸にガスがたまること), 吐き気, 消化不良, 過敏性腸症候群, 胃炎</p> <p>【使用用途】 消化刺激剤, 腸内ガスの排出, 中枢神経を落ち着かせる(神経過敏, 不眠症, ストレス, 片頭痛など)効力があります。</p>


クメール名: Chee-Neang-Vaung	英語名: Sweet basil
学名: <i>Ocimum basilicum</i> L.	日本語名: スイートバジル
	<p>【種目(科目)】 シソ科</p> <p>【原産国】 アフリカなどの亜熱帯・熱帯地域</p> <p>【使用部位】 全体, 種</p> <p>【特徴】 薬用植物であり, アロマや料理への香りづけとして用いられます。揮発性のエッセンシャルオイルを含みます。</p> <p>【使用方法】 新鮮な葉や乾燥した葉は、煎じたりお茶として飲みます。また、アロマとして楽しんだり, 料理の香りづけとして用います。さらに、葉や花から抽出されたエッセンシャルオイルは、食品や医薬品, 化粧品の香料としても用います。</p> <p>【効能】 風邪やインフルエンザ, 咳, 頭痛, 喉の痛み, 眼病, 腹痛, 便秘, 寄生虫, 下痢, 腫れもの, イボ, 腎機能不全</p> <p>【使用用途】 気持ちを落ち着かせます。腹痛や腸痙攣(過敏性腸症候群, 消化性潰瘍, 胃炎, 月経前症候群(PMS)などによって引き起こされる)を和らげます。またアレルギー, 喘息, 保温, 蛇やサソリに対する解毒剤, 血糖値を下げる効用があります。</p>


クメール名: Chee-MareasProv	英語名: Holy basil
学名: <i>Ocimum tenuiflorum</i> L. Syn: <i>O. sanctum</i> Linn	日本語名: ホーリーバジル、カミメボウキ(神目簪)
	<p>【種目(科目)】 シソ科</p> <p>【原産国】 インド</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物であり, 調味料。エッセンシャルオイルを含みます。</p> <p>【使用方法】 生の葉, 花, 茎はお茶として飲みます。種は下剤やお茶になります。感染症を防ぐ湿布薬, 眼の感染症や痛みを和らげるスチームバスやサウナ等にも用います。</p> <p>【効能】 風邪やインフルエンザ, 頭痛, 咳, 副鼻腔炎, 関節炎, 眼の感染症や痛み, 胃炎, 過敏性腸症候群, 水様便, 消化不良, 鼓腸, 吐き気, 真菌感染症, てんかん</p> <p>【使用用途】 気持ちを落ち着かせます。腹痛や腸痙攣(過敏性腸症候群, 消化性潰瘍, 胃炎, 月経前症候群(PMS)などによって引き起こされる)を和らげます。またアレルギー, 喘息, 保温, 蛇やサソリに対する解毒剤, 血糖値を下げる効用があります。</p>


クメール名: Proh-KroAub	英語名: Aromatic ginger
学名: <i>Kaempferia galanga</i> Linn.	日本語名: ナンキョウ(アロマティックジンジャー)
	<p>【種目(科目)】 ショウガ科</p> <p>【原産国】 インドネシア, 中国南部, 台湾, カンボジア, インドなど東南アジア地域</p> <p>【使用部位】 根茎, 葉, 花</p> <p>【特徴】 薬用, 化粧品。エッセンシャルオイルを含みます。</p> <p>【使用方法】 葉は眼薬として用いる他に, 傷を癒すために直接患部に用います。また、柔らかくして, 眩暈や動機を和らげる吸引剤としても用います。乾燥させた葉は蜂蜜と共に強壮剤として用います。根茎は解毒剤に, また、乾燥させて粉にした根茎は食用増進・消化改善などの効用があるお茶として用います。</p> <p>【効能】 目の疲れ, 耳の感染症, 頭痛, 咳, 腫れ, 傷, めまい, 動悸, 食欲不振, 消化不良, 胃潰瘍, 毒, 下痢, 赤ちゃんのインフルエンザ, 捻挫</p> <p>【使用用途】 健康と長生きを増進させます。悪い血液を取り除き, 生理不順を治します。</p>


クメール名: Preah-Klob	英語名: Sensitive plant
学名: <i>Mimosa pudica</i> Linn; Syn: <i>Mimosa asperata</i>	日本語名: オジギソウ
	<p>【種目(科目)】 ネムノキ科</p> <p>【原産国】 中南米など熱帯地域</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 葉, 幹, 根, 葉のジュースは煎じて飲みます。また、葉は湿布や温湿布として用います。</p> <p>【効能】 発熱, 潰瘍, 腫れ, 赤痢, 尿のトラブル, 膀胱結石, 胃炎, 黄疸, 高血圧, 咳, 喉の痛み, 慢性気管支炎, 肺感染症, 喘息, 月経不順, おりもの, 貧血, 不眠, 関節痛, はしか</p> <p>【使用用途】 植物を煎じたものは腎機能不全などを和らげる利尿薬として, 根は赤痢と駆虫の治療薬として, チンキは血糖を下げるためにそれぞれ用いられます。また, 筋肉痛や膿んだ傷口のための湿布薬, 母乳を増加させる用途もあります。</p>


クメール名: PongRo	英語名: Pongro
学名: <i>Schleichera oleosa</i> (Lour.) Oken; Syn: <i>S. trijuga</i> Willd.	日本語名: セイロンオーク
	<p>【種目(科目)】 ムクロジ科</p> <p>【原産国】 インド亜大陸, 東南アジア</p> <p>【使用部位】 皮, 種, オイル(エッセンシャルオイルを含む)</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 粉末にした乾燥樹皮はお茶として飲みます。また、米のとぎ汁に浸された樹皮は湿布薬として, 種の粉末は植物油として, それぞれ用います。</p> <p>【効能】 マラリア, 腫れ, アトピー性皮膚炎, 真菌性皮膚感染症, フケ, 痔, 子宮脱, 胃炎, 犬咬傷</p> <p>【使用用途】 増毛作用があり, 樹皮とその他の薬用植物を混合したものは, 痔, 子宮脱, 胃炎などに効用があります。</p>


クメール名: Smao-Muk-Chhneang	英語名: Graceful (Pouzolzbush)
学名: <i>Pouzolzia zeylanica</i> (L.) Benn.	日本語名: ヤンバルツルマオ
	<p>【種目(科目)】 イラクサ科</p> <p>【原産国】 カンボジア, ベトナム, ラオス, タイ, インド, マレーシア, フィリピン</p> <p>【使用部位】 全体(白い葉, 赤い葉両方とも)</p> <p>【特徴】 薬用植物, 防腐剤</p> <p>【使用方法】 全部を乾燥させたもの, もしくは葉を乾燥させたものは, 煎じて飲みます。また、生あるいは乾燥させたものは, 防腐剤としても用います。</p> <p>【効能】 咳(結核, または慢性的な風邪やインフルエンザ), 歯痛, 歯周病, 胃痛, 排尿障害, 尿路感染症, 淋病, 梅毒, 乳房の痛み, おりもの</p> <p>【使用用途】 利尿, 抗生物質, 母乳量の増加, 潰瘍の薬として用いられます。またフィッシュペーストのウジ発生防止の防腐剤としても用いられます。</p>


クメール名: Chee-Tapoa-Trei	英語名: Fish mint, chameleon plant
学名: <i>Houttuynia cordata</i> Thunb	日本語名: ドクダミ
	<p>【種目(科目)】 ドクダミ科</p> <p>【原産国】 日本, 南国, 中国南部, 東南アジア</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用, 葉野菜</p> <p>【使用方法】 生の葉は, ハーブの飾り付けとして用います。また, ジンマシンなどの湿布薬としても用います。</p> <p>【効能】 肺膿瘍, 化膿性の咳, 痔の痛み, 乳房の痛み, 耳の感染症, 蜂巣炎, 尿路感染症, 赤痢, 副鼻腔炎</p> <p>【使用用途】 解熱や感染症の解毒を行います。また利尿作用があります。</p> <p>【注意事項】 伝統的な漢方の用法で用いられます。重度のアレルギーを引き起こす可能性があります。</p>

クメール名: Smao-Promat-Manus	英語名: King of bitters
学名: <i>Andrographis paniculata</i> (Burm.f.) Wall.ex.Ness	日本語名: センシレン
	<p>【種目(科目)】 キツネノマゴ科</p> <p>【原産国】 インド, スリランカなど南アジア, 東南アジア地域</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 生あるいは乾燥させたものは煎じて飲みます。また湿布薬としても用います。</p> <p>【効能】 風邪やインフルエンザ, 発熱, 咳, 喉の痛み, 肺炎, 尿路感染症, 膈分泌, 生理痛, 高血圧, 下痢, 赤痢, 腸症候群, 腫れ, ヘビの咬傷</p> <p>【使用用途】 収斂剤や消毒, 鎮痛剤, 寄生虫の治療薬として用いられます。免疫力の向上, HIV患者の血球数の向上, アレルギーの改善などの効用もあります。</p>


クメール名: Tracheak-Kranh	英語名: Gotu kola
学名: <i>Centella asiatica</i> (L) Urb, <i>Hydrocotyle asiatica</i>	日本語名: ゴツコラ
	<p>【種目(科目)】 セリ科</p> <p>【原産国】 インド, スリランカ, オーストラリア北部, インドネシア, イラン, マレーシア, メラネシア, パプアニューギニア他アジア地域</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物。強いエッセンシャルオイルを含みます。</p> <p>【使用方法】 湿布薬, お茶, あるいは飲用チンキとして用います。</p> <p>【効能】 破傷風, 皮膚潰瘍老衰, 強皮症, 傷, リウマチ, 乾癬, 神経状態, 軽いやけど, 神経質, 免疫障害, 脱毛, 発熱, てんかん, 象皮病, アトピー性皮膚炎, 痙攣, 再発性静脈不全, 傷, 性病, 口内炎, 静脈瘤, 腸疾患</p> <p>【使用用途】 体を若返らせ, 脳に栄養を与え, 神経を落ち着かせ, 精神状態を改善します。また, 解熱, 代謝の向上, 利尿, 血液浄化により肌の状態を良くします。</p>


クメール名: Chet-Moul-Plueng-Pka-KraHoom	英語名: Scarlet leadwort
学名: Plumbago indica L.	日本語名: アカマツリ
 <p>NO IMAGE</p>	
<p>【種目(科目)】 イソマツ科 【原産国】 インド 【使用部位】 根, 茎, 葉, 花 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 主に根は煎じて飲みます。また、オイルは湿布薬として用います。 【効能】 痔, 咳, 胆管閉塞, 消化不良, 関節痛, リンパ節の腫れ, 歯痛, 白癬(皮膚感染症), ハンセン病 【使用用途】 消化改善, 子宮収縮の改善, 無月経の改善などの効用があります。 【注意事項】 妊娠中の使用は避けてください。</p>	

クメール名: Nho-Srok	英語名: Indian mulberry, noni
学名: Morinda citrifolia L.	日本語名: ノニ(ヤエヤマアオキ)
	
<p>【種目(科目)】 アカネ科 【原産国】 東南アジア, オーストラリア 【使用部位】 根, 皮, 葉, 果実 【特徴】 薬用および栄養価が高い植物 【使用方法】 葉のジュースは, アタマシラミ用のシャンプーとして, あるいは煎じたものは飲料として用います。また、葉は湿布薬としての用途もあります。果実は生のまま塩と共に食べ, さらにはチンキとして用います。 【効能】 浮腫, 赤痢, 熱, 結核, 吐き気, 月経不順, 消化不良, 喘息, 糖尿病, 高血圧, 腰痛, 便秘 【使用用途】 葉のジュースはアタマジラミ用のシャンプーとして用いられます。また, 体を若返らせ, 痛みを和らげ, 腹部のガスを抜き, 便を軟らかくする効用があります。</p>	


クメール名: Promat-Manus-Deum	英語名: Java brucea (fruit)
学名: Brucea javanica (Linn) Merr.	日本語名: ニガキ
	
<p>【種目(科目)】 ニガキ科 【原産国】 東南アジア, オーストラリア北部 【使用部位】 根, 茎, 葉, 果実 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 煎じるか粉末にして飲みます。また、湿布薬として用います。 【効能】 下痢, アメーバ赤痢, 痔, マラリア, 発熱, 回虫, 咳, 腫れ, 白癬(皮膚感染症), イボ, 虫刺され, 筋肉痛 【使用用途】 胆汁の分泌を改善し, 発熱や痛みを軽減します。 【注意事項】 妊娠中および子どもは使用しないでください。</p>	

クメール名: Sla	英語名: Betel nut
学名: Areca cathechu Linn	日本語名: ビンロウ
	<p>【種目(科目)】 ヤシ科</p> <p>【原産国】 マレーシア・フィリピン原産, 熱帯太平洋, アジア, 東アフリカの一部</p> <p>【使用部位】 樹脂, 果実</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 果実の皮および樹皮は煎じて飲みます。また、粉末にした樹皮は湿布薬として用います。</p> <p>【効能】 眼の痛み(押されているような), 副鼻腔炎, 歯痛, 喉の痛み, 吐血性の咳, 嘔吐物, 血液, 臍出血, 赤痢, 食欲不振, おりもの, 寄生虫, サナダムシ, 貧血, 糖尿病, 脾臓, 鼓腸, 尿, つわり, マラリア</p> <p>【使用用途】 希釈した眼薬により眼圧を低下させる作用があります。また、樹皮粉末を煮たものを局所に用いることによって, 腫れ, 傷, 皮膚潰瘍, 感染症への効用があります。加えて下剤としても用いられます。</p>


クメール名: Speu	英語名: Star apple, star fruit
学名: Averrhoa carambola Linn	日本語名: ゴレンシ(スターフルーツ)
	<p>【種目(科目)】カタバミ科</p> <p>【原産国】 スリランカ, インドネシア東部など熱帯地域, 現在は東南アジア, マレーシア</p> <p>【使用部位】 果実, 花, 葉, 茎, 根</p> <p>【特徴】 薬用および食用植物</p> <p>【使用方法】 煎じて飲みます。</p> <p>【効能】 喉の痛み, 咳, マラリアによって引き起こされる脾臓肥大, 関節痛, 慢性的な頭痛, 風邪やインフルエンザ, 腸の感染症, 尿, 外傷, 感染症, 水疱</p> <p>【使用用途】 果実のジュースやそれにお湯を混ぜたものは, 風邪やインフルエンザに効きます。また, マラリアによって引き起こされる脾臓肥大にも効用があります。</p>


クメール名: Sbaeng	英語名: Sappanwood
学名: Caesalpinia sappan Linn	日本語名: スオウ
	<p>【種目(科目)】 ジャケツイバラ科, マメ科</p> <p>【原産国】 インド</p> <p>【使用部位】根, 心材, 葉, 種</p> <p>【特徴】 薬用植物。単体もしくは複数のハーブを混ぜて用いられます。</p> <p>【使用方法】 煎じて飲みます。種は粉末にして用います。</p> <p>【効能】 ジフテリア, 外傷, 生理不順, 肛門出血, 水疱やかゆみ, スケーリング, 赤痢, 水腫, リンパ節の病変, ハンセン病, 痙攣, 発熱, 腸チフス, おりもの, 淋病</p> <p>【使用用途】 血液循環の改善, 血球増加に用いられます。また, 強壯剤としても用いられます。灼熱感, 傷, 潰瘍, 皮膚病, 下痢, 月経過多, 白帯下, 糖尿病, 口内炎を和らげます。</p>


クメール名: MaReas	英語名: Bittergourd
学名: Momordica charantia Lin.	日本語名: ニガウリ(ゴーヤ)
	<p>【種目(科目)】 ウリ科</p> <p>【原産国】 アマゾン, 東アフリカ, アジア, カリブ地域を含む熱帯地域</p> <p>【使用部位】 全体, 根, 葉, 花, 種, 果実</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 生および乾燥させたものを煎じて飲みます。また、生の状態で湿布薬としても用います。</p> <p>【効能】 アメーバ赤痢、熱、熱中症、のどの痛み、糖尿病、水疱、熱発疹</p> <p>【使用用途】 血液や大腸を解毒します。また全身性疾患にも効用があります。苦い強壮剤は、高齢者や慢性疾患を持つ患者に効き、さらには抗酸化ビタミンAとCにより視力を向上させます。</p>

クメール名: Sdao	英語名: Neem
学名: Azadirachta indica Ant Juss	日本語名: ニーム(インドセンダン)
	<p>【種目(科目)】 センダン科</p> <p>【原産国】 インド亜大陸</p> <p>【使用部位】 根皮, 茎皮, 果実, 樹皮, 葉, 花, 種, 果実</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 ギー(料理), 粉末として用いる以外に、煎じて飲みます。</p> <p>【効能】 ストレスや高熱、発熱や炎症、痔、胃の痛み、消化不良、便秘、下痢、黄疸、月経、細菌感染、腸内寄生虫、嘔吐、腫瘍、のどの渇き、梅毒、肌の状態、関節炎やリウマチ、肥満症、吐き気、マラリア、白帯下、黄疸、湿疹、眠気、糖尿病、咳、気管支炎</p> <p>【使用用途】 根皮は、去痰薬、抗マラリア薬、病気の再発防止薬、下痢止めとして用いられます。また、新芽、若葉、花は、苦味がある強壮剤として、慢性的な不安とストレスを和らげ、血液の解毒を行います。樹皮、フルーツ、ジュースは、ウイルスや寄生虫に効き、消化器官を刺激します。葉は感染症や無月経を改善します。ナッツから取れるオイルは、昆虫に効力があり、細菌感染症を治療します。</p>

クメール名: LoPov	英語名: Pumpkin
学名: Cucurbita maxima Dugesne ex Lam	日本語名: カボチャ
	<p>【種目(科目)】 ウリ科</p> <p>【原産国】 北米</p> <p>【使用部位】 根, 茎, 花, 果実, 種</p> <p>【特徴】 薬用および食用植物</p> <p>【使用方法】 煎じて飲みます。また、湿布薬として用います。</p> <p>【効能】 腸内寄生虫(回虫、条虫、住血吸虫症)、膿瘍、潰瘍、火傷、けが(軽度)、虫刺され、乳首の亀裂、発熱、歯痛、黄疸</p> <p>【使用用途】 種子はサナダムシやその他の腸内寄生虫を取り除きます。根は媚薬と強壮剤となり、果実は糖尿病の患者に効用があります。</p> <p>【注意事項】 黄疸の患者にはカボチャの種の使用は避けてください。</p>

クメール名: Slaeng-Thom	英語名: Poison nut tree
学名: Strychnos nux. vomica Linn.	日本語名: マチン
	<p>【種目(科目)】 マチン科 【原産国】 インド, マレー諸島 【使用部位】 茎, 葉, 種 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 煎じて飲みます。また、湿布薬として用います。 【効能】 慢性的な感染傷、喘息、関節痛、腱鞘炎、麻痺、神経質、筋肉の脱力、寄生虫、蛇と虫刺さ、吐き気、痔核、鼓腸、しびれ、低赤血球 【使用用途】 慢性的な感染症および外傷を治癒します。心臓、神経系を刺激するとともに、胃液分泌、利尿を促します。腸から熱とガスを取り除き、しびれを治療し、血球数を改善する効用があります。</p>

クメール名: MaChou-LaMaum	英語名: Roselle
学名: Hibiscus sabdariffa.L.	日本語名: ローゼル
	<p>【種目(科目)】 アオイ科 【原産国】 ヨーロッパ・アジア・アフリカ大陸の熱帯地域 【使用部位】 全体 【特徴】 薬用植物および調味料 【使用方法】 花はジュースにするかお茶として飲みます。また、果実は乾燥させ、種は粉末にして飲みます。 【効能】 胆石、腎臓結石や尿路感染症、消化不良、鼓腸、消化性潰瘍、発熱、咳、高血圧、腎臓痙攣、背中の痛み、歯や骨の弱さ、神経質 【使用用途】 若葉だけでなく花も、野菜や酸っぱいスープを準備するための調味料として使用されます。葉は咳を治すために使用され、花はシロップとして用いられると共に、消化、腹部のけいれん、高血圧、神経過敏、胆汁分泌を円滑にする効用があります。乾燥させた果実は、暖かい水と共に飲み物として用いられます。この飲み物は、血中コレステロール値改善に効果的で、消化性潰瘍、腎臓結石を治療する効用もあります。また、種子は利尿作用があり、強壮剤としても用いられます。</p>

クメール名: MaRum	英語名: Horse-radish tree
学名: Moringa oleifera Lamk	日本語名: ワサビノキ
	<p>【種目(科目)】 ワサビノキ科 【原産国】 東北インドの準ヒマラヤ地域、現在はアフリカ、アラビア、東南アジア、太平洋・カリブ諸島、南米 【使用部位】 根、茎、葉、花、種 【使用方法】 樹皮は煎じて飲むか消毒剤として、根は収斂剤として用い、また、煎って粉末にした種と葉は湿布薬として用います。 【効能】 歯肉出血、尿路機能障害、発熱、関節炎、むくみ、消化器系の問題(鼓腸、消化不良と膨張した胃)、膿瘍、寄生虫、喘息、浮腫 【使用用途】 煎じた樹皮は心臓機能と消化を改善するとともに、一般的な強壮剤、整腸、痛みを和らげる効用もあります。 【注意事項】 妊娠中の使用は避けてください。</p>

クメール名: Moha-ChumPou	英語名: Red garlic iris
学名: Eleutherine bulbosus (Mill) Urb.	日本語名: ヤワル・ピリピリ



【種目(科目)】 アヤメ科
 【原産国】 カリブ地域, ブラジル, 熱帯アメリカ
 【使用部位】 球根
 【特徴】 薬用植物
 【使用方法】 根茎は煎じて飲みます。また、チンキとしても用います。
 【効能】 出産後の健康障害、めまい、頭痛、貧血、黄疸、出血、吐血を伴う咳、咳(結核性)、喉の痛み
 【使用用途】 整腸及び消化を助ける効用があります。血液の強壯剤としての効用もあり、また、一般的に分娩後の女性に効用があり、煎じて飲まれます。

クメール名: PaNov	英語名: Bael fruit
学名: Aegle Mrmelos (Linn) Correa	日本語名: アエグレ・マルメロス



【種目(科目)】 ミカン科
 【原産国】 インド
 【使用部位】 茎, 根, 皮, 葉, 果実
 【特徴】 薬用植物
 【使用方法】 お茶として、また、チンキとして用います。
 【効能】 マラリア、発熱、悪寒、再発下痢や赤痢、真菌感染症、便秘、鼓腸、腹部膨満感、気管支炎、湿疹、潰瘍、心臓病、消化不良、糖尿病、頻脈
 【使用用途】 胆汁や消化器系の循環を刺激し、虫下し作用、解熱作用もあります。便秘を改善し、血液の循環を高め、代謝率を高めます。
 【注意事項】 妊娠中絶を引き起こすおそれがあります。

クメール名: MaOom	英語名: Thyme
学名: Limnophila geoffrayi Bonati	日本語名: タイム





【種目(科目)】 シソ科
 【原産国】 東南アジア
 【使用部位】 花と葉の先端
 【特徴】 薬用植物、オイルを豊富に含む
 【使用方法】 お茶やチンキなど様々な方法で用います。
 【効能】 咳、喘息、気管支炎、消化不良、鼓腸、下痢(特に子供)の腸寄生虫、細菌感染症、扁桃炎や喉頭炎、喉の痛み
 【使用用途】 消化器と呼吸器疾患、消化不良に効用があります。防腐剤として用いられ、また、女性の生理不順にも効用があります。


クメール名: Preah-AnnLouk	英語名: Indian camphorweed, Indian fleabane
学名: Pluchea indica (L) Less	日本語名: ヒイラギギク
NO IMAGE	【種目(科目)】 キク科
	【原産国】 熱帯地域, 温帯地域
	【使用部位】 葉, 茎, 根
	【特徴】 薬用および食用植物
	【使用方法】 葉はお茶にして飲んだり、チンキにして外用薬として用います。
	【効能】 発熱、頭痛、腰痛、関節痛、骨脱臼、骨折、消化不良や赤痢、膀胱結石、膈分泌物、痔、糖尿病、低血糖
【使用用途】 葉は蒸して、長寿のための強壮剤や解熱に使用されます。	


クメール名: PaTeu	英語名: Shampoo ginger
学名: Zingiber zerumbet L.	日本語名: シャンプー・ジンジャー
NO IMAGE	【種目(科目)】 ショウガ科
	【原産国】 インド
	【使用部位】 樹脂
	【特徴】 薬用植物および調味料
	【使用方法】 葉はお茶にして飲んだり、チンキにして局所的な外用薬としても用います。
	【効能】 母乳の出を促進する、発熱、咳、ツグミ、吐き気、嘔吐、食品(魚)中毒やアレルギー、腹部痙攣(痛みや痙攣)、胃炎、消化不良、鼓腸、浮腫、倦怠感、めまい、食欲不振、高血圧、捻挫や脱臼、関節炎


クメール名: Sok-Krom	英語名: Ironwood
学名: Xylia xylocarpa (Roxb)	日本語名: ピンカド
NO IMAGE	【種目(科目)】 マメ科
	【原産国】 南アジア, 東南アジア
	【使用部位】 心材, 樹皮, 花, 果実
	【特徴】 薬用植物
	【使用方法】 毎日1回お茶で飲みます。
	【効能】 発熱、咳、便秘、卵巣、子宮および肺の疾患


クメール名: Sok-ChhaMaa	英語名: Indian nettle
学名: <i>Acalypha indica</i> L.	日本語名: キダチアミガサソウ
 <p>NO IMAGE</p>	<p>【種目(科目)】 トウダイグサ科</p> <p>【原産国】 熱帯アフリカ, 南アフリカ, インド, スリランカ, イエメン, パキスタン</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 乾燥させたものを内服薬としてお茶にして服用します。また、生の葉は局所的な湿布として用います。</p> <p>【効能】 咳、呼吸困難、気管支炎、肺炎、便秘、ヘビの咬傷</p>

クメール名: Prok-Plae	英語名: Stonebreaker
学名: <i>Phyllanthus amarus</i> Schum.ct Thonn.	日本語名: ユキノシタ
	<p>【種目(科目)】 ユキノシタ科</p> <p>【原産国】 インド, ブラジル, アメリカ南部</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 生または乾燥させたものをお茶にして飲みます。また、乾燥粉末を水に混ぜて飲み、そのまま局部に塗って使用します。</p> <p>【効能】 腸の感染症、肝炎、眼痛、膿瘍、炎症、皮膚感染症、マラリア、発熱</p>


クメール名: Smao-RomLout-Pleung	英語名: Emilia, sow thistle
学名: <i>Emilia sonchifolia</i> (L) DC.	日本語名: ウスベニニガナ
	<p>【種目(科目)】 キク科</p> <p>【原産国】 日本</p> <p>【使用部位】 全体</p> <p>【特徴】 薬用植物</p> <p>【使用方法】 生または乾燥させたものをお茶として使用します。</p> <p>【効能】 風邪やインフルエンザ、発熱、気管支炎、肺炎(軽度)、腸チフス、下痢、赤痢、腸の感染症、結膜炎、鼻出血、胸痛、へんとう腺肥大、アトピー性皮膚炎、神経炎、外傷、ヘビの咬傷</p>


クメール名: AngKea-Dei	英語名: Corkwood tree
学名: <i>Sesbania grandiflora</i> (L) Pers.	日本語名: シロゴチョウ
	<p>【種目(科目)】 マメ科 【原産国】 インド, マレーシア, インドネシア, フィリピン等のアジア諸国 【使用部位】 葉, 茎皮, 根皮, 花 【特徴】 薬用および食用植物 【使用方法】 焙煎した根や葉はお茶にして飲み、生の花や茎、若い葉はスチームサウナに使用します。 【効能】 食欲不振、消化不良、口腔カンジダ症、発熱、腸の感染症、下痢や赤痢</p>

クメール名: Sbov-Plaeng	英語名: Blady grass
学名: <i>Imperata cylindrica</i> Beauv	日本語名: チガヤ
	<p>【種目(科目)】 イネ科 【原産国】 南アジア, 東南アジア, インド, ミクロネシア, オーストラリア, 東アフリカ, 南アフリカ 【使用部位】 根, 葉, 花 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 お茶にして服用、また、お風呂に入れて使用します。局所的な塗り薬としても使用します。 【効能】 血尿、膣からの出血、嘔吐、鼻出血、のどの渇き、糖尿病、発熱、咳、急性腎感染症、浮腫、黄疸、じんましん、あせも、高血圧、淋病、排尿障害、膀胱感染症</p>


クメール名: Veur-Bandol-Pech	英語名: Heavenly elixir
学名: <i>Tinospora crispa</i> (Linn) Miers ex Hook	日本語名: イボツヅラフジ(チノスポラ)
	<p>【種目(科目)】 ツヅラフジ科 【原産国】 インド, ミャンマー, スリランカの熱帯地域 【使用部位】 根, 茎, 葉, 花 【特徴】 薬用食植物、人間同様動物にも用いられる。 【使用方法】 葉の液をジュースとして、また、根はお茶や粉末にして飲用に用います。 【効能】 マラリア、発熱、糖尿病、損失、慢性関節炎、梅毒、腸内寄生虫</p>


クメール名: KannTuy-DamRei	英語名: Chinese biota
学名: <i>Platycladus orientalis</i> (L); Syn: <i>Thuja orientalis</i> L.	日本語名: コノテガシワ
	<p>【種目(科目)】 ヒノキ科 【原産国】 中国北西部 【使用部位】 種, 葉 【特徴】 薬用植物。お香にも使用される。 【使用方法】 お茶にして飲用します。 【効能】 嘔吐血、血便、過度の月経、発汗、不眠、緊張(恐怖、動悸、不快感、物忘れ、夜汗)、便秘</p>

クメール名: Kuma-Pech	英語名: Stephania root, hairy fig
学名: <i>Stephania rotunda</i> Linn, <i>S. tetrandrae</i>	日本語名: ステファニア・ロツンダ
	<p>【種目(科目)】 ツツラフジ科 【原産国】 東アジア, 南アジア, オーストラリア 【使用部位】 根, 茎, 葉, 花 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 乾燥させたものはお茶として、また、局所的な湿布薬としても使用します。 【効能】 痙攣、腹痛、胃炎、リウマチ、結核、喘息、慢性潰瘍、消化不良</p>

クメール名: KannTee	英語名: Five-leaved Chaste tree
学名: <i>Vitex negundo</i> L.	日本語名: タイワンニンジンボク
	<p>【種目(科目)】 シソ科 【原産国】 熱帯東アフリカ, 熱帯南アフリカ, アジア地域 【使用部位】 花, 皮, 根, 葉 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 粉末に砂糖や蜂蜜を加えて飲用したり、湿布として使用します。 【効能】 消化不良、下痢、不規則な月経、子宮の痛み、腎炎、筋肉のけいれん、のどの痛み、気管支炎、沸騰、頭痛、マラリア、ヘビの咬傷、関節痛、歯痛</p>

クメール名: KannTeu-Sar	英語名: Simpleleaf chastetree
学名: Vitex trifolia L.	日本語名: ミツバハマゴウ
	<p>【種目(科目)】クマツツラ 【原産国】熱帯東アフリカの海岸地域 【使用部位】花, 皮, 根, 葉 【特徴】薬用植物 【使用方法】全ての部分を飲用として使用します。 【効能】潰瘍、下痢、消化不良、肝臓病、不妊、無月経や月経困難症、更年期障害、更年期障害、耳疾患、心臓病、片頭痛、頭痛、発熱</p>

クメール名: AnhChaun	英語名: Butterfly pea
学名: Clitoria ternatea Linn	日本語名: チョウマメ
	<p>【種目(科目)】マメ科 【原産国】東南アジア, マダガスカルを含む熱帯地域, 温帯地域 【使用部位】根, 葉, 花, 種 【特徴】薬用植物 【使用方法】煎じた物を飲用、また、目薬として使用します。 【効能】便秘、喘息、胸の痛み、排尿障害、眼の問題、喉の渇き、下痢</p>

クメール名: PraTeal-Preah-AngKorl	英語名: White turmeric
学名: Curcuma zeodaria (Christm.) Roscoe	日本語名: ガジュツ(ホワイト・ターメリック)
	<p>【種目(科目)】ショウガ科 【原産国】インド, インドネシア 【使用部位】球根 【特徴】薬用植物、精油を含みます。 【使用方法】煎じ薬として、また、お茶用の乾燥粉末にして使用します。局部的に防腐剤としても使用します。 【効能】痛みを伴う月経、腹部腫瘤、消化不良、鼓腸、腸の痙攣、過敏性腸炎、胃炎、吐き気、嘔吐、下痢、赤痢、外傷やあざ</p>

クメール名: Dei-Plei	英語名: Long pepper
学名: Piper retrofractum Vahl; piper longum	日本語名: ヒハツモドキ



【種目(科目)】 コショウ科
 【原産国】 インドシナ, マレー半島
 【使用部位】 果実
 【特徴】 薬用植物
 【使用方法】 油、粉、チンキとして使用します。
 【効能】 腸内寄生虫、坐骨神経痛、リウマチの痛み、麻痺、喉の痛み、咳、喉頭炎、気管支炎、喘息、痛風、鼓腸、てんかん、麻痺、消化不良、腹部腫瘍

クメール名: Chhouk	英語名: Lotus
学名: Nelumbo nocifera Gaertn	日本語名: ロータス(ハス)





【種目(科目)】 ハス科
 【原産国】 熱帯アジア, オーストラリア
 【使用部位】 球根, 種, 果実, 花, 葉, 茎, 根
 【特徴】 薬用(主に種や花)および食用植物
 【使用方法】 乾燥させた種を粉末にし、お茶として服用します。雄しべは乾燥させお茶として使用、また、チンキやスチームバスに使用されます。
 【効能】 嘔吐、血液、速い心拍、発熱、首の疲れ、イライラ、のどの渴き、不眠、高血圧


クメール名: PonLey-KaMao	英語名: Black ginger
学名: Zingiber ottensii Valetton	日本語名: 黒ショウガ, ジンジャー





【種目(科目)】 ショウガ科
 【原産国】 東南アジア, インドネシア, マレー半島, タイ
 【使用部位】 根茎, 根
 【特徴】 薬用植物、減量目的のサプリメントとして使用
 【使用方法】 根茎, 根は局所的な湿布として、また、チンキとして使用したり、粉末をお茶にして使用します。
 【効能】 捻挫や脱臼、打撲、筋肉痛、脚気、月経困難症、腰痛、不眠、食欲不振、子宮内&腹腔内の痛みや痙攣、便秘、眼の問題、咳、気管支炎、のどの痛み、喉、吐き気

クメール名: AngKanh	英語名: Cinnamomum aromaticum
学名: Cassia siamea Linn	日本語名: シナモンカシア
	<p>【種目(科目)】クスノキ科 【原産国】東南アジア 【使用部位】根, 心材, 葉, 花 【特徴】薬用植物 【使用方法】主に、根(花や葉も)は煎じ薬やチンキとして使用します。また、ココナッツオイルに混ぜて局部塗り薬として使用します。 【効能】不眠、喘息、ふけ、膀胱結石、かゆみ、便秘、肝炎、蕁麻疹、副鼻腔炎、水疱、眼の灼熱感、性感染症、再発性発熱、感染症によって引き起こされる潰瘍と発熱</p>

クメール名: Bonlei	英語名: Cassumunar ginger
学名: Zingiber cassumunar	日本語名: ボンツク生姜
	<p>【種目(科目)】ショウガ科 【原産国】熱帯アジア 【使用部位】根 【特徴】薬用植物 【使用方法】生または乾燥させたものを産後の女性が煎じ薬として服用します。同じく、生または乾燥させたものをチンキ、湿布、スチームサウナで使用します。 【効能】保温作用、血流促進、発汗作用、消化促進、整腸、生理不順解消、捻挫や脱臼、打撲、筋肉痛解消、美肌</p>

クメール名: Romiya	英語名: Turmeric
学名: Curcuma longa	日本語名: 秋ウコン
	<p>【種目(科目)】ショウガ科 【原産国】インドなど熱帯アジア 【使用部位】根 【特徴】薬用、食用植物 【使用方法】生をそのまますり潰して湿布にしたり、生や乾燥させたものを煎じてお茶にして飲みます。産後の女性がチュポンを行う際、すり潰したものを体に塗ります。 【効能】捻挫や脱臼、打撲、筋肉痛、脚気、月経困難症、整腸、腰痛、不眠、食欲不振、子宮内&腹腔内の痛みや痙攣、便秘、美肌</p>

クメール名: Ku nyai	英語名: Ginger
学名: Zingiber officinale	日本語名: 生姜
	<p>【種目(科目)】 ショウガ科 【原産国】 南アジア, 東南アジア 【使用部位】 根 【特徴】 薬用、食用植物 【使用方法】 生をそのまますり潰して湿布にしたり、生や乾燥させたものを煎じてお茶にして飲みます。 【効能】 発散、健胃作用、鎮吐、興奮作用、強壮作用、健胃作用、食欲不振</p>

クメール名: AngKorl	英語名: Sage leaved alangium
学名: Alangium Salvifolium	日本語名: アランジウムサルバフォルウム
	<p>【種目(科目)】 ウリノキ科 【原産国】 東アジア, 東南アジアの熱帯, 亜熱帯地域 【特徴】 薬用植物 【使用方法】 根や幹を煎じて飲用に使用します。葉または幹を、局所的な湿布として使用します。 【効能】 ワーム、喘息、ハンセン病、皮膚病、発熱、痔、リウマチ、火傷</p>

2. クメール伝統医療について

・クメール伝統医療の成立

カンボジアは山・丘・海など様々な自然と、メコン川およびトンレサップ湖周辺の肥沃な土地に恵まれており、伝統医療に不可欠な動植物および天然ミネラル成分などの資源が豊富に存在している。このような土地柄が古くはアンコール王朝時代よりクメールの伝統医療を発展させてきた。

その起源はほとんど知られていないものの、アンコール王朝時代(9～15世紀)に発達した古来のカンボジア医療は、アーユルヴェーダ(インドの伝統医療)や漢方の理論や処方など海外の医療を元にしていていると思われる。古代カンボジア人は、これらの理論を地元の信仰や迷信に取り入れ、独自の医療システムを作り出した。

アンコール王朝時代の建築や考古学のデータからも、カンボジア医療の歴史を見て取ることができる。アンコール・トム西門の外側やタケオ寺院の近くに位置する小さな石造りの小屋は、碑文からアンコール王朝時代に病院施設として使われていたとされる。仏教徒のジャヤバルマン7世により建てられたこれら病院の廃墟からは、当時の医療が非常にインドからの影響を受けていたと見て取ることができる。

国内で発見されたサンスクリット語で記された石碑には、「ジャヤバルマン7世は国民の健康を自身の健康よりも懸念していた。そのため、保健医療の分野に注力していた。」という事が書かれている。仏教寺院アンコール・トムが建設されたのもこのジャヤバルマン7世の時代であり、このジャヤバルマン7世の時代に政治的にも文化的にも大きな発展を遂げたアンコール王朝は、国内に数多くの寺院のみならず、病院も建設したと言われている。アンコール王朝が滅んで以降、ヤシの葉にパリ語で書かれた古代カンボジアの医療の写本にはいくつかの主な古代医療知識の情報が保存されており、これらは今日でも国内の多くの寺院で見ることができる。



提供：CaTHA(カンボジア伝統医療師協会)

・クメール伝統医療の概要

クメール伝統医療は2つの主な診断方法に大別できる。1つ目は問診を中心とする臨床的方法であり、2つ目は占い・予言・疾病に対する超自然的な説明を含む、呪術的・宗教的方法である。カンボジアでは祈り・魔術的な儀式・その他のスピリチュアルな行為と共に多くの伝統医療が実施されている。また超自然的な世界では疾病を治すことも引き起こすも可能であるとされており、2つの診断方法両方において動植物が用いられることから、多くにおいて医療的な領域とスピリチュアルな領域を区別することは難しい。

「クメール伝統医療の形式」と呼ばれる文章によると、クメール伝統医療を学ぶものは以下の3つを修得する必要があるとされている。

① Tri Peit:

薬効に関する経典である。インドのアーユルヴェーダの影響を非常に受けているカンボジアの伝統医療では、宇宙の構成要素を5つ<空、火、土、風、水、>に分けており、人間も5つの要素<身体、感覚、感情、生活、魂>で構成されると考える。これらの要素のバランスが崩れたとき、病気の原因になると言われている。伝統医療の形式では、薬用植物や薬用動物、鉱物や岩石から取れる地元の自然素材から作られる原料を形式に基づいて測定し、混合する。他のいくつかの薬は海外から輸入され漢方薬局で見ることが出来る。

② VeitVitya:

人々の健康を守るためにクメール伝統医療に組み込まれた呪術であり、その起源はヒンドゥー教と仏教に基づく。ヒンドゥー教からの影響においては、カンボジア人がその時期幅広く治療に使用するために“Klerng”からコピーした、伝統医療と宗教に関する多くの経典が残されている。これらの経典の中には、“Komatotrak”と呼ばれる経典が存在し、クメールの人々が受け継いできた、古代の効果的な治療方法として、子供の病気などの治療方法の詳細が記述されている。仏教からの影響においては、主にクメール人の先祖が仏教文章の詠唱の中核部分として用いていた数多くの呪術として知られている。

③ Tin Preah Soryat:

古代の人々が捉えてきた占星術である。治療が効果を発揮しなかった場合、療法士はより占星術の側面へ重きを移し、病気の原因を探す。古代の王ですら占星術に頼っていた。療法士が結果を占星術的に「悪い」と判断したときには、それらの原因は、父親の祖先、母親の祖先、呪い、悪霊が憑いている、など様々な状況も包含する。

・クメール伝統医療専門学校

同地域のベトナムや韓国とは異なり、カンボジアでは伝統医療師になるための正式な教育・訓練機会は、戦後長い間存在しなかった。一般的にカンボジアの伝統医療師(kru khmer: クルクメールと呼ばれる)は、主にパゴダと呼ばれるお寺での師弟関係、また独学、家族・コミュニティの年長者の知識を通して技術を学んでいる。そのような中で、伝承者が少なくなっている伝統医療知識の保護と、各地で活躍するクルクメールが基礎的な医療知識と技能(解剖、生理、診断学、薬草学、課外授業など)と安全な知識(安全教育、衛生学、モラル教育、関係法規)をもって活動をできるようにと、2009年4月、カンボジア保健省・国立伝統医療局と日本財団の助成によって「カンボジア伝統医療専門学校」が開講した。



現在コースは9月末、3月初めからの各50名を対象に5ヶ月間、2期制となっており、修了者には保健省から認定証が授与されクルクメールとして公的に営業する権利を得る。その後、さらにクルクメール達の活動を広く支援する体制を整えるべく、ローカルNGO『CaTMO (Cambodian Traditional Medicine Organization /カンボジア伝統医療機構)』を設立。2010年6月より運営を開始した。現在、全国から集まった伝統医療師(150名)が5ヶ月のトレーニングを修了。2011年度100名が在学中。また、研修生は『カンボジア伝統医療師協会 (CaTHA)』を設立(会員数250名)。正しい伝統医療の普及と伝統医療師の社会的信用回復のための活動を開始している



・現代カンボジア社会におけるクメール伝統医療

多くのカンボジア人は、伝統医療を西洋医療と混合して用いている。例えば、カンボジア人は西洋医療・伝統医療双方の医師による診断を同時に受け、双方の薬を使用し、入院中に霊媒者(患者を治療するために霊を呼びだすなど)を呼び寄せることになる。伝統的な治療者は、その専門性によって様々な言葉が用いられるが、包括的には「クルクメール(Kru Khmer)」という言葉が用いられる。クルクメールは、主に以下の形式で治療薬を処方する。

乾燥植物薬(Dried plant medicine): 一般的に、乾燥された木・小枝・根・葉の混合物して処方される。水を混合物に加えて煮沸し飲む。

液体薬(Liquid medicine): 一般的に黒色。すり潰した植物を主とし、動物性原料が加えられる場合もある。その形状から、内容物を視覚的に判断することは不可能。

アルコール漬治療薬(Steeped medicine): 原材料をアルコールに浸してつくられる。患者はアルコールを飲むことに対して対価を支払う。一般的には、内容物を視覚的に判断することは不可能。

粉末薬(Powders): 薬効性材料がすり潰されており、粉末・錠剤・カプセルのいずれかとして処方される。内容物を視覚的に判断することは不可能。

原材料薬(Loose ingredients): 根・小枝・種子・動物の一部により成る。すり潰されていない場合、内容物を視覚的に判断することが可能。

局所薬(Topical medicines): 外用薬。内容物を視覚的に判断することは不可能。



調査前のクメール伝統医療治療薬はマーケット、クルクメールが所有する店舗、個人の修道僧・伝統的助産師から入手可能である。それらの治療薬は、単体あるいは組み合わせられて処方される。

また治療師の診断無しに、現地薬(Local remedies)が各村々や各世帯によって使用されている。それらの家庭薬(home remedies)は、個人消費のため収集した動植物によって成っており、使用される天然材料の種類・質・量によって非常に変化しやすい。農村人口の多く(特に現金収入が無い・僻地に住んでいる農民)はこれらの現地薬・家庭薬に依存している。



・伝統医療と公的保険医療セクター

西洋医療が禁止された1970年代(クメール・ルージュ政権時代)では、伝統的治療法が国民にとって唯一利用可能な保健医療であった。1979年の政権崩壊以後、西洋医療師は死亡あるいは亡命していたことから、伝統的治療法がカンボジア政府によって推奨された。1980年初期、伝統的治療師はカンボジア各地域からプノンペンに招集され知識の共有が行われ、またこの時期にクルクメールによって初めて薬草の目録リストが編集された。

1998年には、薬事法(National Policy on Drugs)に関する閣僚会議令(sub-decree)が布告され、主に基幹医療において伝統治療法が含まれている。つい2011年に伝統医療に関するポリシーが作られ発表されたが、法律の整備までは整わず、また、伝統治療法の利用は大部分が家庭・コミュニティレベルに止まっており、公的保険医療セクターとの結びつきは弱い。これらが、伝統治療法のモニタリング実施を困難にしている。

伝統医療に関する制度は、保健省(the Ministry of Health)の管轄である。また「公的セクターにおける伝統的医療法の生産・輸出・輸入・商業に関する閣僚会議令」において製造・貿易に関する法的ガイドラインが規定され、その中には伝統医薬品も含まれている。法令によるとカンボジア伝統医薬品は「天然材料を用いて、実験室条件外において製造された治療薬」として定義されており、カンボジア国民の利益となると見なされる目的においては、何人も伝統医薬品の製造・販売が可能である。製造・輸出・輸入に関しては保健省による免許が必要である。またカンボジアに輸入される医薬品に関しては、保健省による認可が必要である。



・主な施行事例

コクチョール(気の流れをよくするマッサージ)

カンボジアには「コクチョール」と呼ばれる民間療法がある。硬貨で全身の皮膚を赤くなるまで擦るように刺激して疲労回復に効果があるとされている。これは明らかに中国伝統医療の古代九鍼のなかの「さする鍼」(皮膚の表面をさすように刺激する、日本の小児鍼と同じもの)の技法に由来していると考えられる。この療法は他のカンボジア伝統医学の系譜とは異なり、何時何処で発生したのかは現在も調査中であるが、民衆の間で(古典に示されている)「攣痺(筋肉の拘急やしびれ)」の症状に対する「微鍼」の効果が受け入れられ今日まで定着しているものと考えられる。

チュポン(ハーブのスチームサウナ)

カンボジアの女性が、特に産後に使用するのがチュポンである。乾燥ハーブや生のハーブを何種類もブレンドし、素焼きのツボで煮詰めた後出てくる蒸気を体に当てる事で、口と肌からハーブの効能を取り入れ、食欲増進し産後の疲れからの体力回復を狙った療法である。通常産後の女性が1日朝と夕方に2回、1~3ヶ月ほど続ける。生のハーブ配合セットは市場で、乾燥ハーブの配合セットは伝統医薬店にて販売されている。



レモングラス、カファライム、生姜、ボンツク生姜、ウコン、塩、ミョウバン、など約10種のハーブを配合

ジョーツ(骨接ぎ)

後のクルクメールインタビューでも登場するが、クメール伝統医療にてよく用いられる治療が、このジョーツ(骨接ぎ)である。ねんざや打ち身、骨折といった症状に合わせてハーブを配合し、ココナツオイルなどと一緒に患部をマッサージ又は湿布のようにし、その後竹で作ったギブスで固定する。このような整形外科系治療でクルクメールの所を訪れる患者は多く、西洋医学の病院よりもお金がかからず、短い時間できれいに治ると言われている。



竹で作ったギブスで足を固定する



ハーブとオイルで患部を丁寧にマッサージする

・現役のクルクメール(伝統医療療法士)



ハンセン・ソクン氏(60)は多くの経験を積んだ医療師一族の出身で、彼の祖父そして父からクメール伝統医療を学んだ。2011年、プノンペンにて6ヶ月間のコースを終え伝統医療専門学校を卒業、このプログラムで学んだ事が新たな知識が将来の発展に非常に有益だと思つて彼は言う。

多くの患者は、間接の痛みや消化不良、不眠や食欲不振など様々な問題を抱えている。彼はそれぞれの問題、そして患者に対して、個別に診断し薬草を正しく処方しており、多くの患者が順調に回復を見せているという。

「クメール伝統医療は、特に長期的な服用の場合、公衆衛生システムとの関係は切っても切れない。人々の大半はクメール伝統医療を受け入れ、使用すると思う。そしてクメールの土地で取れる薬草は持続可能な開発があつてこそ成り立つものであり、よつて持続可能な栽培と使用を続けていく必要がある」と強く彼は言う。



ホルム・トロブ氏(75)は、1975年以来、カンボジア各地から訪れた様々な疾患を抱えた患者を数多く見てきた、伝統的な骨接ぎ師である。広く骨折治療に精通している彼は、現在シェムリアップ州のチャン村で家族と一緒に暮らしている。尊敬されるクルクメールの長老として、彼は1日30名もの患者を見る。患者の半数は彼の所へ通院しては日帰りで戻れており、周りからは彼の高い技術や知識、そして患者からの信頼の高さが伺える。

彼は25歳の時にお寺へ入り、僧侶からの厳しい指導の元、他の僧侶と一緒に1ヶ月間の集中トレーニングを行った。僧侶たちは皆、理論的な治療方法を学び、また実践的なものも学んだ。最後に行われたテストの中で一番記憶に残っているのが骨接ぎの治療だった。バッファローの骨のサンプルを組み立て、局部に薬草で作った薬を塗り、呪術を施したという。

・パゴダと伝統医療の関係

カンボジアでは上座部仏教が深く信仰されており、国中にお寺(パゴダ)を見る事が出来る。古くはアンコール王朝時代より、病院とお寺は切っても切れない関係であり、多くのクルクメール(伝統医療師)たちはお寺で師匠よりその技術を学んだ。そして近年のクメール伝統医療とお寺の関係性を如実に表しているのが1970年代のポルポト政権時代である。ポルポト政権時代、医者も含めた知識層は弾圧を受け抹殺されたのだが、その時代に西洋医学を学んだ医者に代わつて医療を担当したのが、クルクメールであった。その時代、クルクメールたちはお寺に集められ、負傷した兵士の治療や、薬草を調合し、彼らへの医薬品作りを行っていた。一方で戦火が広がると共に仏教もまた弾圧の対象とされ、多くの僧侶が強制的に還俗させられ、寺院が破壊された。ポルポト政権下において、仏教は壊滅的な打撃を受け、お寺に保存してあつた伝統医療に関する資料も尽く破壊され、生きる伝統であるクルクメールのみが、歴史と伝統の知恵を後世へ伝える唯一の手段となつた。しかしながら、クメール伝統医療の持つ秘密性(通常、弟子に越えられ患者を奪われる事を恐れるクルクメール達は、自分の持つ全ての知識を後世に伝えようとしない)から、知識と知恵が廃れている事は否めない。



ソムロー・ミチュー・クルーン・ロホーン

名前は「パパイヤとクルーンのすっぱいスープ」という意味。パパイヤのさわやかな甘みのあるスープ。

- ・使用するハーブ:
(クルーン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック、ガーリック、唐辛子
(そのまま)バジル、ホーリーバジル、タマリンド
- ・その他の具材:
パパイヤ、牛肉



ニュアン・サダウ

ニュアンは「揉む」の意味。ピーナッツや中国麺など様々な食感が楽しめる。祝い事やお盆のお供えなど頻繁に登場。

- ・使用するハーブ:
チークロモツ(スイートバジル、ミントなどの香り豊かな葉の総称)、サダウの葉
- ・その他の具材:
きゅうり、キャベツ、中国麺(ミースウオ)、ピーナッツ



ソムロー・チー

「香草スープ」。定番の調味料ばかりでシンプルな味付けだが、具としてつかう香草の香りが豊かなスープ。

- ・使用するハーブ:
(クルーン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック、ガーリック、唐辛子
(すり潰さず使う)スイートバジル
- ・その他の具材:
かぼちゃ、さやえんどう、なす、食用油、プロホック、ココナッツミルク、とりにく



チャー・クロモン・クチュー

和訳すると「怠けた女性の炒め物」。ハーブをすり潰さず、切ってそのまま調理する手軽さからこのように呼ばれている。ビールとよく合うパーティーの定番料理。

- ・使用するハーブ:
(そのまま)レモングラス、カファライム、ガランガル、ホーリーバジル、ガーリック、赤とうがらし
- ・その他の具材:
鶏レバー



ボツ・タツ・クルー

魚やエビをすりつぶし、魚醤などの調味料を混ぜたタレに、切った生野菜をつけてそのまま食べる。

- ・使用するハーブ：
スタウの葉
- ・その他の具材：
魚、えびのプロホック、ガーリック、水、砂糖、味の素、塩、魚醤、なす、トロアック、モリンガ、キャベツ、きゅうり、さやえんどう、プティー、赤とうがらし



ソムロー・カレー

クメール風スープカレー。ココナッツミルクをたっぷり使っており、味は甘い。

- ・使用するハーブ：
(クレーン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック
- ・その他の具材：
じゃがいも、にんじん、ストリングビーン、オニオン、肉(写真は鶏)、赤とうがらし、赤オニオン、白ガーリック、赤ガーリック、ココナッツミルク、カレー用クレーン、砕いたピーナッツ、えびプロホック



クノッブ

包んでグリルする調理方法のクメール語「クノッブ」がそのまま料理名となっている。ミンチした材料をバナナの葉で包みグリルする。

- ・使用するハーブ：
(クレーン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック
(すり潰さず使う)ホーリーバジル、ターマリンドの葉
- ・その他の具材：
豚肉、魚、マッシュルーム



アモック

「包んで蒸す」というクメール語がそのまま料理名になっている。材料を切ったあと、バナナの葉で包んで蒸す。味付けはひかえめで、ココナッツミルクの優しい香りが特徴。

- 使用するハーブ：
(クレーン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック、ガーリック、赤とうがらし
(すり潰さず使う)モリンダ
- ・その他の具材：
鶏肉、ココナッツミルク



ソムロー・ミチュー・クルーン・ロホーン

名前は「パパイヤとクルーンのすっぱいスープ」という意味。パパイヤのさわやかな甘みのあるスープ。

- ・使用するハーブ：
(クルーン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック、ガーリック、唐辛子
(そのまま)バジル、ホーリーバジル、タマリンド
- ・その他の具材：
パパイヤ、牛肉



ニュアン・サダウ

ニュアンは「揉む」の意味。ピーナッツや中国麺など様々な食感が楽しめる。祝い事やお盆のお供えなど頻繁に登場。

- ・使用するハーブ：
チークロモツ(スイートバジル、ミントなどの香り豊かな葉の総称)、サダウの葉
- ・その他の具材：
きゅうり、キャベツ、中国麺(ミースウオ)、ピーナッツ



ソムロー・チー

「いろんな野菜のスープ」。最後に炒めた米をいれるため、とろとした食感とお米の風味が特徴。

- ・使用するハーブ：
(クルーン)レモングラス、ターマリンド、ターメリック、カファライム、ヤサイカラスウリ
- ・その他の具材：
パパイヤ、モリンガ、パンプキン、なす、青バナナ、ジャックフルーツ、みどりなす、炒米



ナム

クメール風、生春巻き。魚醬をつけて食べる。パーティーやピクニックなどで食べる、カジュアルなハンディフード。

- ・使用するハーブ：
チークロモツ(フィッシュミントなどの総称)
- ・その他の具材：
はるまき皮、揚げココナッツパウダー、豚肉、魚醬、レタス、きゅうり、さやえんどう、もやし



ソムロー・チュルーク・クライ・チュナン

「鍋を使わないスープ」の意味。乾燥させた小魚とライムの味のスープで少し酸っぱい。

- ・使用するハーブ：
チークロモツ、赤ガーリック、生ガーリック
- ・その他の具材：
マンゴー、きゅうり、トマト、ゆで卵、乾燥させた小魚



バンチャエウ

「薄くする」という意味。米粉を焼いた生地を生野菜をつつんでソースにつけて食べる。生地の黄色はターメリックで付けている。

- ・使用するハーブ：
チークロモツ、ターメリック
- ・その他の具材：
米、水、豚肉、きゅうり、レタス、にんじん、もやし、ココナッツパウダー



ヌンバンチョック

米でできた麺を揚げたもの。スープにつけて食べる。

- 使用するハーブ：
ノギリコリアンダー、トロイリアン
- その他の具材：
きゅうり、もやし、さやえんどう、キャベツ、バナナの花、空芯菜、赤唐辛子



チャー・クローン・サンダイコウ

ぶつ切りにしたさやえんどうと鶏肉の、素材を生かしたシンプルな炒め物。

- 使用するハーブ：
(クローン)レモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック
(そのまま)ホーリーバジル
- その他の具材：
鶏肉、ピーナッツ、さやえんどう



ボボー・ペ

クメール風おかゆ。お米がトロトロになるまでよく煮込む。味はやさしく、最後にトッピングする生ハーブの豊かな香りがたのしめる。

- ・使用するハーブ：
(クルーン)ターメリック、レモングラス
(そのまま)プティーの葉、カボチャの葉、ガーリックの葉、バジル、モリンガ
- ・その他の具材：
米、カボチャ、ガーリック、魚、豚肉



ソムロー・クティッティアントラー

クルーン、ココナッツをふんだんに使用した、甘いグリーンカレー風味スープ。

- ・使用するハーブ：
(クルーン)ガランガル、カファライム、レモングラス、ターメリック
- ・その他の具材：
ココナッツ、鶏肉



タック・トレイクニヤイ

生姜をたっぷり使った少し酸っぱいスープに生の肉や野菜、ハーブをお鍋のように入れて食べる料理。

- ・使用するハーブ：
生姜、ターマリンド、ノコギリコリアンダー、
- ・その他の具材：
牛肉、キャベツ、ヨウサイ、ネギ



チャー・クロモン・クチョルモアン

酒のつまみとしてよく食べられる。ハーブと唐辛子がスパイシーな一品。

- ・使用するハーブ：
(クルーン)ガランガル、レモングラス、カファライム、唐辛子
(そのまま)バジルの葉
- ・その他の具材：
鶏肉

4. カンボジア産品の市場性

・対日輸出に有望なナチュラルプロダクツ

精油:豊富なハーブを原料にした精油生産は今後可能性のある産業の1つである。2012年3月の段階で国内に蒸留所は皆無だが、カンボジアのスラーソー(米焼酎)の蒸留技術を用いれば大規模な精油用の蒸留器を作ることは可能であり、製油は国内に多数あるホテルやスパなどで使用されることから国内需要も見込まれる。国内市場の場合は海外から安く輸入される精油にどう価格で対抗できるかがポイントである。海外市場をターゲットにした場合、インドやスリランカ、インドネシア産の安いオイルに対抗するために、有機栽培認証を取り、ブランディングしていく必要がある。

入浴剤:カンボジアには安い労働力と肥沃で広大な土地があり、ハーブの大量生産が可能である。食用ではない入浴剤は、化学工場などが無いカンボジアの澄んだ空気で自然乾燥して生産することが可能。カンボジア国内ではチュポンと呼ばれて親しまれるスチームサウナ同様の配合で作られた入浴剤やスチームサウナセットが販売されている。ハーブをふんだんに使用することから、日本で流通している1袋100円の入浴剤より割高になるものの、ハイエンド層向けのブランディング次第で、カンボジアの文化を取り入れた面白い製品になると思われる。



石鹸・マッサージオイル:カンボジア国内の主に外国人(在住、観光客)相手に高品質の石けんを生産販売している企業はいくつか存在する。カンボジア産のお土産として人気を博しており、比較的容易に生産でき衛生面での心配(保存期間が長いなど)が少なく、海外輸出へも期待できる製品カテゴリーである。しかしながら、これらの製品原料の大部分である食物性オイルは全て海外(主にタイ)からの輸入である。カンボジアには原料(ゴマ、米、大豆、ココナツ、ヤシ)は豊富にあるものの製油工場がないため、タイに比べてコストが高く付く事が多く、カンボジア国外への輸出のネックになっている。



熟成期間中の石けん。オイルとアルカリ(苛性ソーダ)を混ぜた後、5~6週間寝かせて熟成させる。

ピーナッツやカシューナッツを用いた加工製品:カシューナッツはウルシ科の常緑高木で、カンボジアの主要栽培品目である。昨今カシューナッツの価格が上昇し、2011年2月には、高値7,500リエル/Kg(約1.9ドル、約160円)と、2010年の3,500リエルの倍以上の価格となった。これは世界の需要が増加傾向にある中でアフリカなどの主要生産国が減生産となったのが一因とされている。他の農業生産物と同様、カシューナッツも今までは生のままでベトナムやタイへ輸出され、外国で加工、パッキングされて更に輸出されることがほとんどであったが、カンボジアの地場企業であるメコンレイナナチュラルフーズ社は、コンポンチャム州に工場を完成させ、年間15,00トン程度の加工、800人の雇用を生み出したいと言う。

オーストラリアのNGOが母体のVissot社でも、ピーナッツを加工した製品(ピーナッツバターや菓子類)を生産、主に国内で販売している。しかし保存料を使用していないため保存期間が短く、海外輸出には適していない。大掛かりな機械設備がなくても保存期間を長くできるような技術支援が必要である。

黒胡椒やカルダモンなどのスパイス類と塩:カンポット州、コ・コン州での栽培が有名な黒胡椒もカンボジアの主要栽培品目の1つである。既に輸出もされており、有機栽培認証など差別化にも力を入れている。

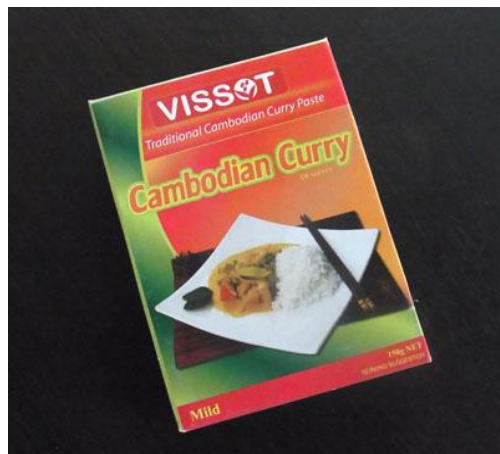
昔カルダモンが豊富に採れて有名だったカルダモン山脈だが、近年の乱獲と森林伐採により数は減少している。カルダモンは世界でも需要の高い、そして価格も高いスパイスの1つであるが、カンボジア国内にカルダモン農家が居るとい話は聞いたことがなく、産業としては成立していない。

パームシュガーや黒胡椒と並んでカンボジア政府が推奨している製品の1つが、カンポット州で中国から伝わった伝統的な方法の塩田で作られる天然海水塩である。乾季の主に12月から4月の5ヶ月間に作られる海水塩は、日本の食塩と比べてカルシウムやマグネシウムなどのミネラル成分が豊富で、取りすぎると高血圧など様々な病気の原因になるナトリウムが少ない、高ミネラル低ナトリウム塩だということが明らかになっている。しかしながら、国内に唯一存在する精製工場は機械の老朽化や衛生状況、マネジメント体制などで問題があり国際基準を満たしておらず、他に国内に精製工場がないことから未加工の塩の輸出しか道がない状態である。日本で検査された未加工(カンボジア国内で普通に流通している塩)の塩からは、髪の毛や枯葉、砂、クモなどの昆虫、海藻などの異物がかなり混じっていたとの報告を受けており、これら精製をカンボジア国内でできるとコスト削減になり海外輸出への可能性も広がると思われる。



カンポットにある塩の精製工場。機械設備は老朽化が進んで錆だらけ、掃除も行き届いておらず、皆裸足で塩の上を歩いていた。

カンボジアのカレーのルー:インドのカレーはもちろん、日本独自のカレー、タイのグリーンカレーと世界にはその国に合った様々なカレーが存在する。その中でカンボジアのカレーは、「クルーン」と呼ばれるカンボジア料理に切っても切れないハーブの調味料(主にレモングラス、カファライム、ガランガル、ターメリック、唐辛子、ニンニク)を中心にハーブが多用されている。独特の味と香りが非常に美味のカレーであるが、味には日本のカレーを彷彿させる。プノンペンのVissot社では野菜と肉を炒めて混ぜるだけのカレーのルーも作っており、消費期限も1年と輸出も可能である。



中間所得層をターゲットにした豆乳、モリンガやスピルリナなどで作られた健康食品:プノンペンに構えるSo!Nutritious社は外国人やカンボジア中高所得者層の訪れるカフェ対象に毎日新鮮な豆乳を作っている。チョコ味やイチゴ味などバリエーションも豊富だが、保存期間が短いことと冷蔵保存の問題(カンボジア国内には冷凍車が無い)からプノンペン周辺だけでの販売となっている。同社は藻の一種であるスピルリナの栽培も進めており、国内の栄養失調の子供のための健康食品を開発している。スピルリナの栽培は設備など大掛かりなものが必要だが、他にもモリンガの葉など栄養豊富な材料を用い、錠剤や青汁の元のようなパウダー製品の健康食品などは今後国内での販売(特に中間所得層と、現地NGOなど対象に)が可能だと思われる。このような製品は既に隣国では販売されており、国内での需要は未知数であるが、認知向上と価格次第で受け入れられる製品となるだろう。

果物加工製品(ジャム、ジュース、乾燥チップス、ドライフルーツなど): バットンバン州立大学の学長も言っていたが、カンボジア国内の豊富な果物の季節購入を生かし(季節物は安く手に入る)長期保存可能な加工製品の生産に注目が集まっている。プノンペンのカンボジアンハーベスト社は、パイナップルやマンゴー、パパイヤなどの果物のジャムやドライフルーツを生産しており、プノンペンのスーパーはもちろんシェムリアップでも観光客向けに販売されている。シェムリアップのマダムサチコアンコールクッキーズ社では、バナナを油で揚げたバナナチップスにスパイスで味付けしたものを、おつまみとして在住外国人、観光客向けに地元のスーパーなどで販売している。クメールメコンフーズ社は、果物やターマリンドを使用したジュースを生産販売している。瓶詰めされて国内のコンビニやスーパー、観光客向けお土産店にて販売されているが、味がいまいちのためか、そこまで人気を博していない。衛生面さえ管理すれば、長期保存に適しているジャムやドライフルーツは、カンボジアの輸出産品としては期待が高いと言える。

以上、いくつかの製品項目を調査したところ、海外へ向けて大掛かりな輸出を今すぐ行える企業はカンボジア国内には少ないことがわかった。理由は大きく2つあり、1つ目は第一段階である素材(果物やココナツ、ハーブ、野菜など全般)の大規模農業が発展していない中で、素材を安定して仕入れることができないこと。2つ目は、素材が手に入ったとしても、それらを国際基準に沿って加工できる加工工場が少ないことである。いくつか加工工場はあるものの、従業員数が50名以下の小さな所が多く、設備も小規模の所がほとんどである。まずは投資が欲しい国内零細企業と、リスク無く完成された製品だけを求める日本企業との溝を埋める必要がある。実現的なのは、身の丈で小規模ながらも国際基準で製品を作り、国内市場で反応を見て試行錯誤した上で、少しの投資を加えて徐々に規模拡大して行くカンボジア企業の姿勢と、日本又は海外で「限定品」と名をつけて上手くブランディングして行き少量から取引をスタートさせることができる先進国企業の姿勢の両方を持って協力して行くことだろう。

カンボジア有望産品調査 伝統医療や伝統料理に用いられるハーブ等素材

2012年3月作成

作成者 ジェトロ(日本貿易振興機構)

途上国貿易開発部アジア支援課
〒107-6006 東京都港区赤坂1-12-32
Tel. 03-3582-5170

プノンペン事務所
JETRO PHNOMPENH
2F, Phnom Penh Tower, #445, Monivong Blvd (St.93/232),
Sangkat Boeung Pralit, Khan 7 Makara, Phnom Penh, Cambodia
Tel. 855-23-966-253